

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚・ろう重複センター藤		
○保護者評価実施期間	2024年11月6日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が来所を楽しみにしている企画やプログラムの充実さ	子どもたちが普段経験できないものを、藤で経験できるようにあらゆる企画を検討している	季節ごとに合わせた企画、また地域性を活かした活動など提案していく
2	ろう・難聴・ろう重複に特化した施設であり、主に手話によるコミュニケーション環境を保障している	聞こえる子どもたちが毎日いろんなところから耳から情報を得られるのと同じように、ろう・難聴の子どもたちは目から情報が入ってくるように意識している	周囲に手話のことを知ってもらえるように、SNSなどで手話動画の配信、コミュニケーションボードの作成など検討する
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コミュニケーション環境を保障した上での集団活動は充実しているが、個々に対する支援が十分整っていない	新しいガイドラインに沿った個別支援計画の作成など見直しをする必要がある	基本的な事ではあるが、ガイドラインおよび支援プログラムに沿った個別支援計画を作成する。
2	クールダウンスペースや、イスに座って宿題するスペースなど確保が出来ていない	障害をもつ子どもの特性や、現代の生活様式に応じたレイアウト作りを考慮すべきであった	簡易テントを設置して落ち着けるスペースを作ったり、折りたたみテーブルを活用するなどニーズに応じて対応出来るようにする
3			